

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年	2	必修
担当教員			
大泉 寛			

授業のねらい（概要）	会計学卒業研究Ⅰを発展させ職業的専門家（税理士）として、学士課程教育で獲得した知識や能力を総合的に活用し、自ら設定した卒業論文の研究課題に対して、解のない問題に主体的に取り組むことを通じて、新たな価値を創造し、ディプロマポリシーである職業会計人として社会的責任を全うできる能力の育成と、AIには果たせない真に人が果たすべき力と、さらに税を中心に存続可能な社会を創造していける人材を育成することを目的とする。		
授業計画	第1回	研究課題に即した資料の分析① 研究課題に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第2回	研究課題に即した資料の分析② 研究課題に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第3回	先行研究の分析① 先行研究の分析に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第4回	先行研究の分析② 先行研究の分析に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第5回	報告、意見交換① 報告、意見交換により卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第6回	報告、意見交換② 報告、意見交換により卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第7回	卒業論文の執筆① 卒業論文の執筆に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第8回	卒業論文の執筆② 卒業論文の執筆に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第9回	卒業論文の推敲① 卒業論文の推敲に関し卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第10回	卒業論文の推敲② 卒業論文の推敲に関し卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第11回	卒業論文の成果発表① 研究課題に関する卒業論文の作成及び研究課題に関する成果発表に向けて論文指導、面接などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の成果発表に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第12回	卒業論文の成果発表② 研究課題に関する卒業論文の成果発表を行う。 事前学修（時間）：卒業論文の成果発表に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）	
	第13回	卒業論文の成果発表③	

	<p>研究課題に関する卒業論文の成果発表を行う。 事前学修（時間）：卒業論文の成果発表に向けて事前に研究を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）</p> <p>第14回 卒業論文の完成及び製本① 卒業論文の完成及び製本の指導などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成及び製本に向けて事前に準備を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して次回につなげる。（120分）</p> <p>第15回 卒業論文の完成及び製本② 卒業論文の完成及び製本の指導などを行う。 事前学修（時間）：卒業論文の完成及び製本に向けて事前に準備を進める。（120分） 事後学修（時間）：学修内容について学修ポートフォリオに整理して将来につなげる。（120分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部会計学科）の2項目を意識した科目となっている。 1. 職業会計人として社会的責任を全うできる能力としての、問題の発見と解決方法及び論理的思考による表現力を身に付けることができる。 2. タックス・マネジメントによる経営改善（コンペティティブインテリジェンス）の助言ができる能力を身に付けることができる。 【身に付くスキル】 課題解決力・創造的思考力
到達目標	①卒業論文を完成させ、自らの独創性を深め、論理的に成果発表のプレゼンテーションが出来る。 ②タックス・マネジメントを創造することができる。 ③存続可能な社会のために必要な税制に関する建議を提案することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出された課題原稿について確認をして返却することを繰り返して卒業論文を完成させる。
履修上の注意	(1) 将来の職業会計人として求められる態度で臨むことが求められる。(2) 講義は協働学修と個別面接指導を繰り返しながら行う。(3) 資料収集などの研究資料はポートフォリオとしてファイルにまとめる。(4) 税理士試験と同等の知識を有すること。
成績評価の方法・基準	ポートフォリオ評価 50% 卒業論文の中間成果 50%
教科書	特に指定しない。
参考書・教材	【参考書】特に指定しない。 【教材】プリント配布、卒業論文の作成手引。
備考	研究科目／実務家教員
教員との連絡方法	メール（アドレスは講義内で周知する）